

かえる便り 27年度15号

平成27年8月17日

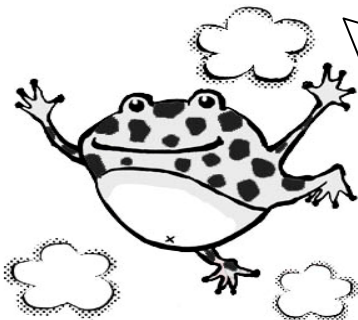
残暑の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

部員達には、人との“出会い と 縁”を大切にしたいと切に願っています。

その出会いを深める第一歩が“あいさつ”です。挨拶の声と表情が“爽やか”であるかどうか重要です。次代を担う青年を育てるためにも、大人が率先して良い挨拶をしたいものです。

縁尋機妙 多逢勝因（多逢聖因）

『人は良い縁に巡り合うと、不思議な事に次から次へと良い縁に導かれ、その縁が大きく育ったお陰で良い結果が得られる』という意味です。良い縁を結びたいと願うなら、挨拶は勿論ですが“直ぐに適切な行動をとる”ことが重要です。運の良い人は直ぐに行動をします。だから信用され、縁が広がると信じています。“感・即・動”と“即今着手”を心掛けたいものです！



フェスティバルのリーグ戦は、各チームとも真剣勝負をして来るので、自分達の力を知ることが出来ます。今回も実力あるチームと組んでもらい、“何ができ”、“何が出来なかった”がよく分かったことと思います。智翠は環境面で恵まれていないので、より対外試合が重要になります。有力校の遠征に比べると少ない方ですが、指導者や保護者の負担を軽減できるよう見直しを考えています。

今回の遠征は、教え子達の協力で予定通り進めることが出来ました。彼らの協力に心から感謝していますが、部員達はどのように受け止めているのでしょうか？遠征が予定通りに進められ、良いチームと対戦する中で部員達の戦い方も少し良くなってきたように思います。また、意欲的に取り組む部員が増えてきたように感じました……。与えられたチャンスを生かし、今までと違う姿＝成長 が伝わってきた部員もいます。しかし、チーム作りはまだ“道半ば”です。部員の心構えを少しでも変え、目標が達成できるよう邁進していきたいと思っています。

14号の写真は、通潤橋です。サッカー以外の感動も必要だと思っています。できれば、どのような想いでつくられたのかを考え理解して欲しいものです・・・。